
● 編集後記

猛暑が続く今日この頃ですが、会員の皆様は夏バテされておられませんか。以前は、本格的な夏の到来を告げる「梅雨明け宣言」なる情報が気象庁から発信されておりました。しかし、ここ数年は、そのような情報もいつの間にか出されなくなり、拍子抜けの感が否めません。これは地球温暖化と深く関係する現象なのでしょうか。これは予測が難しくなっていると同時に近い将来、日本から「梅雨」が消滅する前兆として受け取れるかもしれません。

先月、福島で行われました第4回日本医薬品情報学研究会総会・学術大会は、これまでの中で参加者が最も多く、盛会でありました。シンポジウムとしては「IT時代の医薬品情報」が取り上げられ、様々な貴重な意見交換がおこなわれました。これはまだ、緒に就いたばかりであり、今後の大いなる発展が期待されます。

また、薬剤師の資格については、その欠格条項も見直され、聴覚障害者への門戸も開かれました。欠格条項見直しの法改正による薬剤師免許1号となられた早瀬さんは日本薬剤師会で電子メールによる薬の相談制度を立ち上げておられ、今後、耳の聞こえない患者さんに対応するマニュアル、聞こえない医療関係者とその周囲にいる人が利用できる医学用語の手話のテキスト作成など、自らの経験を活かした新たな薬剤師の職能・職域の発展・展開に積極的に取り組んでおられます。

本号では視覚障害者への薬袋記載事項の点訳実習の論文も掲載されており、大学教育も大きく変わってきています。

このような社会のニーズにあった斬新で特色ある内容も本誌ではとりあげていきたいと思えます。読者の皆様方の投稿をお待ちしております。

(M.H.)